

2018年度 PF 運営報告(概要)

PF Report FY2018

船守展正・KEK 物質構造科学研究所

2018年度は、物構研の所長・副所長が交代して1年目の年でした。PF ニュースの巻頭言などでも紹介されておりますように、「放射光科学の発展、フォトンファクトリーの将来計画の実現に向けて、組織基盤を強固にする」ことを目的とした組織改編の準備が行われました。

関連して、フォトンファクトリー先端化寄附金

<https://www2.kek.jp/imss/pf/donation/>

が開設されました。フォトンファクトリーの研究環境整備や将来計画推進に目的を限定して使用されます。是非、ご協力をお願いいたします。

2018年度の特記事項としては、

- ・PF と PF-AR の同時トップアップ運転の開始
- ・BL-19 の建設
- ・PF-AR 5GeV 運転スタディの実施
- ・産業利用促進運転制度の試行

が挙げられます。これらについては、放射光科学研究系と加速器第七研究系の研究主幹からご報告させていただきます。